

「神韻」を求めて

はすだぜんめい

蓮田善明

Hasuda Zenmei



明治 37 年 (1904) ~ 昭和 20 年 (1945)

熊本市生まれ

歌人、国文学者

せいせいこう 濟々鬢から広島高等師範学校に進み、在学中から文筆活動を始める。卒業後、教職のかたわら、学友らと「日本文学の会」を結成し、国文学月刊誌『文芸文化』を創刊。そこに論考、随想、小説、短歌、詩などを発表する。また、若き三島由紀夫の文才を見出し、「花ざかりの森」を同誌に連載する。南方戦線におうしゅう応召され、終戦時、戦場にて自決する。著書に『本居もとおりのりなが かもかものちようめい』『鴨長明』『神韻の文学』などがある。